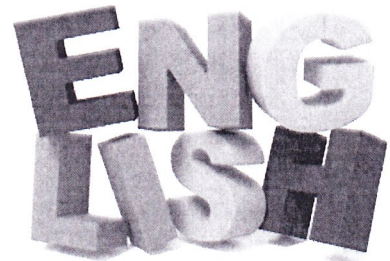


英語スピーチコンテストあらすじ



1年暗唱の部 林凌平さん、外尾和稔さん

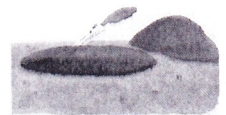
童話「北風と太陽」より

負けず嫌いな北風と太陽が、どちらがより強いのか勝負することになった。内容は道を歩いている男のジャケットをどちらが先に脱がせられるか。北風は全力で風を男に送った。男は飛ばされそうになりながら耐え、寒さでジャケットを脱ぐどころか手放さなかった。太陽の出番が来た。まぶしいほどの日の光を男に浴びせた。すると暑さに耐え切れなくなり、すぐにジャケットを脱いだのだった。勝負は太陽の勝ち！ふたりの勝負はまだまだ続くのだった。



2年暗唱の部 内山千寛さん

ある村に古い神社があった。しかし嵐でその神社は吹き飛ばされてしまった。その後には大きな穴だけが残っていた。穴に向かって叫んでも、石を投げて何の音もしなかった。ある男がその穴をごみ処理場として使い始めた。生ごみから恋文、気づけば産業廃棄物やら核廃棄物までにいたった。数年後、町は完璧な美しさを手に入れた。すると、上からかすかに叫ぶ声が。さらに上から石が降ってきたのだ。



3年暗唱の部 栗橋真依子さん

昔々遠くの土地に一人の王女がいた。旅行中ある町に寄ると、貧しくも明るく、屈強な男性に出会った。彼女はすぐに恋に落ちた。だけど身分の差、生活力の差がはっきりと二人にはあった。王女はその町に住むことを決めた。村人の一員として貧しい生活が続けるうちに、自然と二人は惹かれあっていた。あるとき、ついに彼女は男に正体を明かした。彼は最初こそ怒っていたが、彼女の話聞き、彼女の真剣な愛に驚いた。そうして二人は城に住み、一生幸せに暮らした。



スピーチの部 菅澤七海さん

勉強は好きですか？勉強に何の意味があるのだろう。中には「本当に必要なのか。」と考える人もいる。私は生活になくってはならないものだと思う。日本では義務教育として15歳まで平等に教育機会が与えられている。中3の97%が上級学校へ進学する。その数字は非常に高い。その一方で教育を受けられない子どもも相当数いるのが現実である。なぜ勉強するのか。それには3つの理由がある。一つ目は日常生活を豊かにするからである。読み・書き・計算ができれば、いろいろな情報を得ることができる。そうすれば生活はより主体的になる。二つ目は所得だ。給料格差は教育水準の高低で決まるという調査結果がある。教育を受けることができれば、職業選択の幅も広がる。三つ目は自由と権利を主張するためだ。知識が増えれば、より豊かに生活することができる。ノーベル平和賞受賞者のマラウさんのスピーチは感動するものだった。私は彼女の考えに強く感銘を受けた。私たちがこうして毎日学校へ行き、学習できることはすごく幸運なことなのである。教室に入るたびに自分の幸運をかみ締めよう。チャンスを無駄にしてはいけない。次みなさんが教室に入るとき、一瞬立ち止まり、自分を見つめなそう。私たちはとても恵まれているんだということを。

